

埼玉県立がんセンター がんゲノム医療センターニュース



News from Center for Cancer Genomic Medicine, Saitama Cancer Center
(Saitama-CCGM News)

第2号

ご挨拶

埼玉県立がんセンターは、全国32施設ある「がんゲノム医療拠点病院」の一つとして、良質ながんゲノム医療を実現するために活動しています。がんゲノム医療センターの活動の一部をニュースとしてご紹介します。

埼玉がんセンターで実施されたがん遺伝子パネル検査 がんゲノムプロファイル検査 (Comprehensive Genome Profiling test, CGP test)

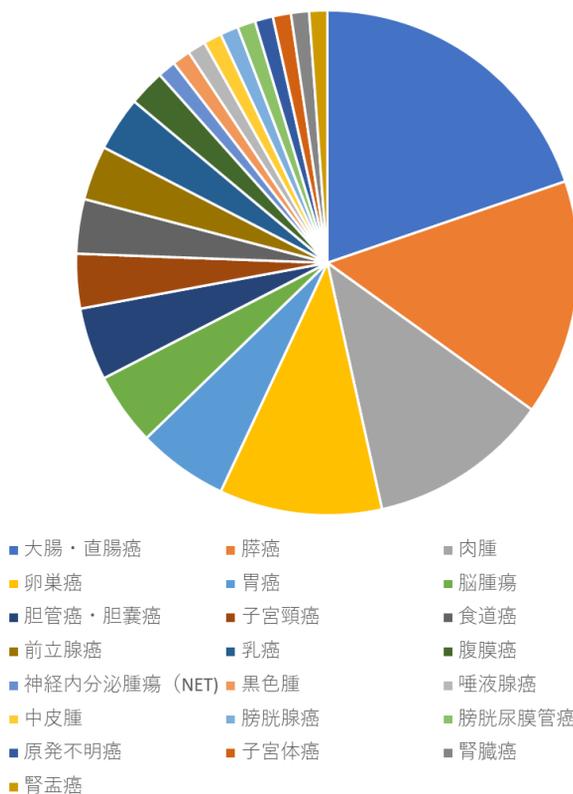
当院実績のご紹介

令和5年度(2023)上半期(4-9月)には、86名の患者さんがCGP検査を受診されました。

膵臓、大腸、胆道のがんの方が多いたが、希少がんなど様々ながんで実施されています。

3人に2人(約67%)の割合で、遺伝子変化に基づく治療薬の提案・治験の紹介がされました。

2023年度上半期(4-9月) CGP test実績 (埼玉がん)



ご興味のある方は、主治医にご相談ください。

(院内登録情報より) 2024年2月1日現在

コラム

CGP検査の種類

がん細胞のもつゲノム情報の読み取りはNGS（次世代シーケンス）で行われます。本邦で保険収載されているCGP検査法は

FoundationOne® CDx
OncoGuide™ NCC Oncopanel
FoundationOne® Liquid CDx
Guardant360® CDx
GeneMineTOP®

があります。（国内承認順）

検査法によって、検体の種類（組織、細胞、血液：DNA/RNA）、検査する遺伝子数や変化の種類、等の違いがあります。今後、検査の特徴についてもご紹介していきます。

コラム

検査費用のこと

がんゲノム検査は、保険診療に収載されている検査（保険診療）と自費診療があります。

保険診療でのCGP検査は、56,000点（56万円）で、3割負担の場合の自己負担は16.8万円と高額ですが、高額医療費等に対する補助制度もあります。

さらに詳しい情報は、当院の患者サポートセンター（地域連携）までお問い合わせください。

新しい薬剤が次々に開発されています。精密医療として、標的となる遺伝子変化がある患者さんに効果の期待できる薬剤を届けることが大切です。遺伝子検査はその第一歩といえます。

参考サイト：国立がん研究センター・がんゲノム情報管理センター
https://www.ncc.go.jp/jp/c_cat/jitsumushya/index.html

発行：令和6年2月22日
編集長：がんゲノム医療センター長 元井
編集担当：竹下